

令和6年度 協働のまちづくりチャレンジ事業 2次公開プレゼンテーション

川と橋にまつわる町会コミュニティの修復

【川と橋の物語】episode01
七つ橋わたりと体験型コミュニケーション



1.団体について01 (タイトル/七つ橋わたりと体験型コミュニケーション)



連携

< CRM金澤 >

～今の時代にあった、地域コミュニティを創る、人との出会い。～

Community ⇒ 自治・風俗・習慣などがある地域共同体。

Restore ⇒ 時代にあった・復元・再生

Meeting ⇒ 人との出会い・会議・打ち合わせ

町会メンバーの
平均年齢を
下げる！

参加を促し
興味を持って
もらう！

まずは町会に
声掛けをして
現状を共有。

現代に合った
コミュニティを
考える会。

1.団体について02 (タイトル/七つ橋わたりと体験型コミュニケーション)



2町会連合会
の本事業の
役割

募集

説明

町会長
へのつなぎ

地域の
歴史・風習



団体連携
強み



- 地元の情報とNPOのセミナーやワークショップでのノウハウを合わせた強み。
- チラシ・ポスターなどのツールの制作は情報や配布（町連・町会）が受け持ち、デザイン印刷手配はNPOがする。
- アナログとデジタルの棲み分けと分担。（社会体育大会とSNS）
- 町会の方は、外部の者の言うことより、内部の人の考えに耳を傾ける。だから連携する。

NPO法人
の役割

告知・募集

連絡調整

町連への
つなぎ

セミナー
準備・運営

2.企画の概要01（原状の課題01）（タイトル／七つ橋わたりと体験型コミュニケーション）

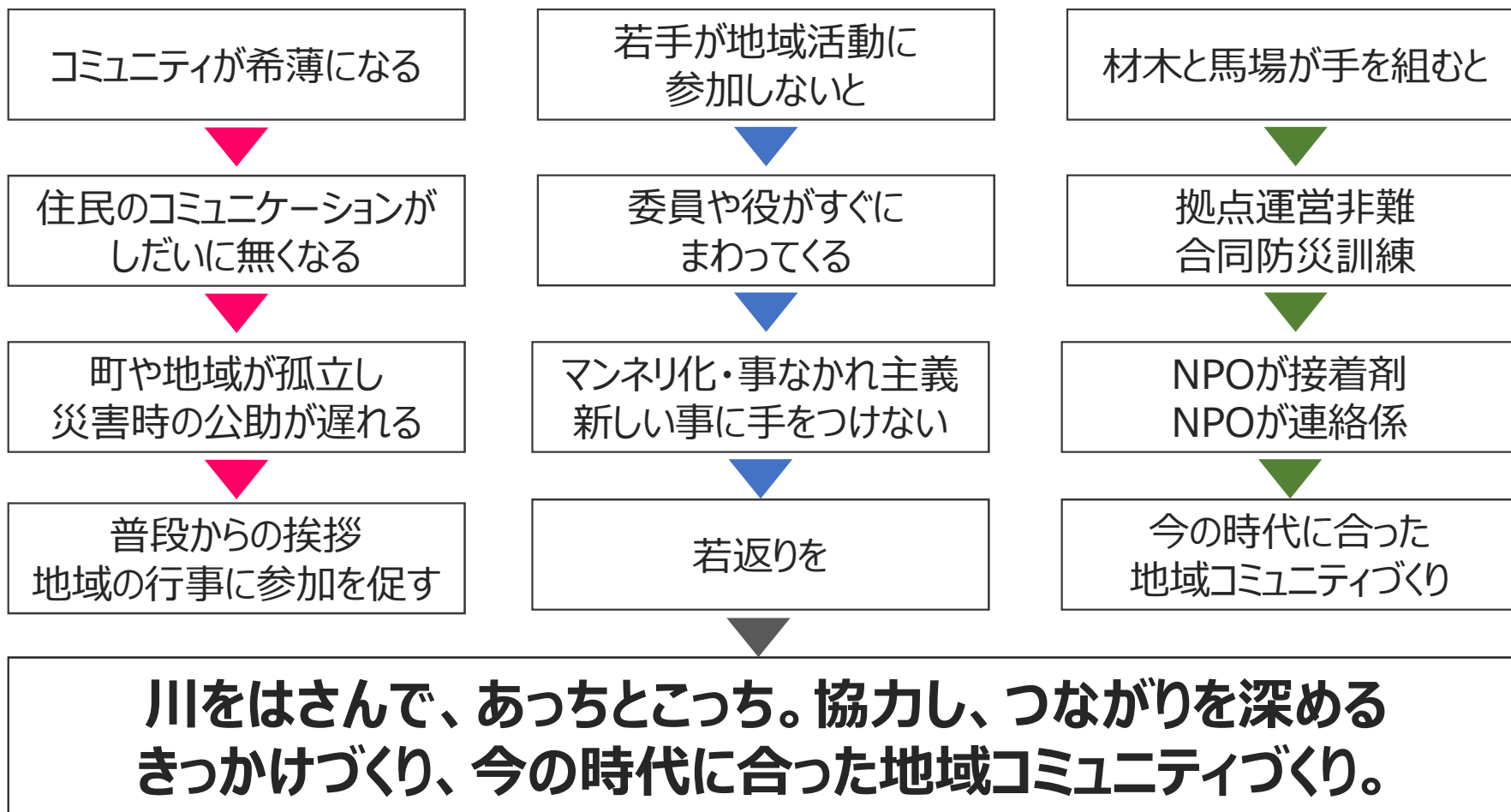
- 薄れゆく町会や町のコミュニティ。
- 数年にわたるコロナの影響。
- タイパ・コスパの台頭。
- 高齢化・町会の役員60～70代が中心。
- 地域の行事・祭事も大半が高齢者。
- 歴史伝統・風習行事・言い伝え、残すべきコンテンツ。
- コミュニケーションがとれず、
- 「防犯防災・各種集金・町会の委員決め」などに弊害。



現代にあったコミュニティづくりと、若返り。



2.企画の概要02 (原状の課題02) (タイトル/七つ橋わたりと体験型コミュニケーション)



2.企画の概要02（意義／効果）（タイトル／七つ橋わたりと体験型コミュニケーション）

<意義>

- ボランティアを募ります。→町会に興味を持ってもらいます。
- 対象：30代後半～40代→地域コミュニティの若返り。
- 現在の役員が交代しても、この課題を申し送り。



<効果>

- この企画は、地域の起爆剤となるように、していきたい。
- 地域貢献＝「ダサい」→地域活動が「酒場の話題」になるように！
- 能登の地震、浅野川の水害など災害では、隣近所のコミュニティが威力を発揮しました。普段からの付き合いが、大切です。

2.企画の概要03（内容一覧） （タイトル／七つ橋わたりと体験型コミュニケーション）

	第1回	第2回（秋編）	第3回	第4回（春編）
日程	7/21 13:30-16:30	9/22 00:00-01:00	11月（日時未定）	3/20 秋編と同じ
場所	材木公民館	集合/常盤橋	馬場公民館	集合/常盤橋
実施者	WLB北陸を中心に 町会ボランティア	町会・町連 WLB北陸	WLB北陸を中心に 町会ボランティア	町会・町連 WLB北陸
実施内容	コミュニケーションと SDGsのセミナー	七つ橋わたり ※四つ橋わたり 9/21（土）13:30	ガチャポンを使った コミュニケーション研修	七つ橋わたり ※四つ橋わたり 3/15（土）13:30
目的 期待効果	ボランティア募集 コミュニケーション・ ファシリテーション が身につく	ボランティア募集 風習・言い伝えの伝承 次回セミナーの布石	ボランティア募集 コミュニケーションまとめ	

※四つ橋わたり＝日中に、子どもが経験できるプログラム。狙いは、子どもの親への「町会」のお誘い。

2.企画の概要04（差別化/工夫点）（タイトル/七つ橋わたりと体験型コミュニケーション）



- ①SDGs⑪番の目標です。
- ②2町連、NPOは、人脈・人的ネットワーク。
- ③ガチャポン、カードゲームで飽きのこない仕掛け。
- ④現代にあったコミュニティのためのコミュニケーションセミナー。
- ⑤仕事でも使えるファシリテーションセミナー。

※④⑤が、この事業のテーマです。

※「若手」の定義は、この事業では30代後半～40代。

※ちょうど管理職になる人もいて、ニーズがあると思います。

2.企画の概要05（スケジュール） （タイトル／七つ橋わたりと体験型コミュニケーション）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
プレゼンテーション	●							
告知開始	●		●		●			SNS/チラシ/その他
準備期間	●	●	●		●			
第1回 7/21		●						SDGsとコミュニケーション
第2回 9/22				●				七つ橋わたり ※3/20春の開催
第3回 11月						●		絵しりとりとコミュニケーション
成果検証								
事業振り返り会						●		反省会
報告書作成							●	



3.今後の展開・展望01（展開）（タイトル／七つ橋わたりと体験型コミュニケーション）

（手を挙げやすいようにする展開例）

1.町連の町会長が集まる機会に、話し合いをします。

※話し合いテーマ例「コミュニティ崩壊の予兆」・「町会役員の若返り」など

2.町会にもどり、町ごとに対応を考えておきます。

3.各町会長、副会長の自主的な勉強会を推奨します。



- ① 組織及び仕事を見直し、分散させ、部分的参加を可能にする。
- ② 役員の障壁を下げる。（経験者以外の方々を積極的に登用）
⇒新規の人も含め、町会の役員・委員にすることが、この事業のゴールです。
- ③ 会議のやり方を変える。（回数を減らす・時間の短縮・議事録作成と公開）
など事務作業を効率化し、広報を工夫する。
- ④ 予備知識が無くても役員になれるように、勉強（研修）の機会を設ける。
- ⑤ 年齢や性別にこだわらず、やる気のある人が仲間に加わりやすいように
「歓迎する風土」を、役員間で醸成する。
- ⑥ 現職役員より少し下の世代にアプローチする。



3.今後の展開・展望02（展望）（タイトル／七つ橋わたりと体験型コミュニケーション）

次年度以降のエピソード案

- 1.浅野川の「中の橋」で七夕飾り（SDGs 3・14番）
- 2.ホタルが乱舞する梅の橋（SDGs 7・14番）
- 3.泉鏡花と【川と橋と和菓子】（SDGs 4・8番）

- 1.は、馬場校下の町会が多い「中の橋」で七夕飾りを飾ります。
（費用は5万円前後）※複数の町会予算で工面算段する。
- 2.は、ほたるのえさ「カワニナ」は、Amazonで100匹(巻貝)3,200円です。
クラウドファンディングで、資金を10万円程度集め、梅の橋付近で育てます。
- 3.は、泉鏡花記念館と2町連とも付き合いがあります。どちらかの公民館で
開催します。朗読と学芸員のトークショーを予定します。
（費用は6万円前後）※複数の町会予算で工面算段する。



2023年の七夕飾り（梅の橋にて）



カワニナを食べるゲンジボタルの幼虫

3.今後の展開・展望03（展望）（タイトル／七つ橋わたりと体験型コミュニケーション）



次年度以降の展望



1.今年を初年度として、材木校下、馬場校下を中心に町会関係者に声を掛け、地域を広げる（瓢箪地区/浅野町校下/味噌蔵地区/此花地区/新堅町校下/新神田校下連合町会）校下によってはNPO法人の会員がいるところもあり、また町会連合会の関係を探って広げる。

2.能登の市町へ広げるためにSNSで告知から開催、事後報告までを紹介します。まだ復旧が優先しますが、いずれ、まちづくりに関連する話し合い、コミュニティが復活・話し合などの機運が、高まるものと思われます。

この時に、金沢市のある町連・町会のコミュニティ修復が参考例となり、能登地方の市町の町会や、コミュニティを間接的に支援をします。

4.事業収支予算01（収入）



科目	金額	内訳など
委託料	400,000	金沢市より
自己資金	30,000	NPO会計より
参加費	10,000	一般参加者（資料代他）
計	440,000	

4.事業収支予算02（支出）



科目	金額	内訳など
謝金	70,000	外部講師（SDGs進行 30,000円） 七つ橋わたり先導/左右 （2名×1日2回×秋春×5,000）
交通費	40,000	講師等の旅費（大阪～金沢往復） 打ち合わせ・事業実施等に係る交通費
消耗品費	35,000	資料・事務用品等・懐中電灯・誘導用ライト
食糧費	20,000	会議打合せ及び講師等に出す軽食代 四つ橋わたりジュース
印刷製本費	70,000	告知チラシ兼ボランティア募集 （4回×5,000部） 七つ橋わたりリーフレット・ポスター等の印刷代
通信運搬費	10,000	郵送料・宅配料等・案内状送付

保険料	20,000	レクリエーション保険
委託料	70,000	ボランティア募集チラシ・ポスターのデザイン 七つ橋わたりリーフレット・ポスター＋イラストマップ 資料作成等
使用料及び 賃借料	60,000	施設使用料・駐車場使用料（15,000円） SDGsカード使用料（45,000円）
材料費	45,000	関係スタッフ用報告書 （町会への参加呼びかけ）
計	440,000	

ご清聴ありがとうございました

材木地区町会連合会
馬場地区町会連合会
NPO法人ワークライフバランス北陸

< CRM金澤 >

～今の時代にあった、地域コミュニティを創る、人との出会い。～



令和6年度 協働のまちづくりチャレンジ事業 2次公開プレゼンテーション